

Guiding Question

今日学ぶこと 問診と触診の基礎

問診と触診の技能の練習をやる。これを cue に、学習課題を自己決定する

ロボットで、問診と触診をやる。触診と問診の技能の上達があれば、嬉しい。

その後、

何が分からないか？ 何が重要ポイントか？ 何を学ぶべきか？ 箇条書きで書き出す。

これから勉強すべき事を、自己決定する。(自己決定学習)

診察における問診の意味の理解を共有

問診で、何が分かるの？ (教科書に書いてある)

知っている事と、出来る事は別物。 (訓練が必要)

病気の鑑別が出来るような、問診の仕方を医学生はどのように訓練される？

患者から何を聞いたら良いのか？ 具体的な、質問内容は？

医学生の言葉使いが変で、患者が、答えられない事は？

それを避けるためには、どのような言葉使いをしたら良いのか？

診察における触診の意味の理解を共有

触診で触れる内臓は？

触診で、何が分かるの？

触診されて、患者は痛くないの？

体を触る触診。病気で苦しんでいる時に、触診をされる患者の気持ちは？

病気を治すための診断だから、我慢。

でも医学生の触診は、患者の診断の目的は、診断ではなく、ただ単なる訓練。

患者は、なぜ、文句を言わないの？

患者の気持ちを察しましょう

従来の医学教育では、どのように問診と触診を学んできたか？

医学生は、熟練していたのか？

では、熟練していない人が、患者の診察をしても許されるの？

病魔に襲われた患者は、どんな精神状態？ 身体的な痛みは？

医学生が、そのような状態の患者を診察して、患者の気持ちは？

従来の教育の問題点の共有 診察ロボットを使う利点の共有

従来の医学教育なら、前置きの講義が十分にあってから、学生は実習をする。

前置きの講義が長すぎたら、学生は退屈？

教員には必要性が分かっているけど、学生には、勉強の目的が不明で、動機付けができない？



今までとは、学ぶ順序が逆です

ロボットを使う場合には、まず、とにかく主治医になったつもりでやってみる。

できない、できても不完全燃焼。

今の自分に、何が足りないのだろうか？ Self-reflection

それから、目的意識を持って自己学習に励む。 自己決定方学習

すなわち臨床訓練も気軽に On Job Training 化。

ロボットで事前に熟練してから、患者の診察に当たるのが礼儀。

従来の実習： 講義の内容を、追体験するための実習。

ロボットを使う実習の意義：

- 1) 自己学習の出発点、
- 2) ほんの初歩的な技術を修練する。

本当の技術を学ぶなら、患者を診察して学ぶべし。

それが許される環境づくりを、医学生はすべし（すなわち、事前の十分なる練習）。

最初の表題に戻る：問診と触診の技能の練習を。これを cue に、学習課題を自己決定する。

ロボットで、問診と触診をやってみましょう。触診と問診の技能の上達があれば、嬉しい。

ロボットは、あなたが失敗しても、怒りません、安心を。

その後、

何が分からないか？ 何が重要ポイントか？ 何を学ぶべきか？ 箇条書きで書き出す。

これから勉強すべき事を、自己決定してください。

自己決定学習項目

何が分からないか？

何が重要ポイントか？

何を学ぶべきか？